

公務員宿舍朝霞住宅（仮称）整備事業中止の説明のため 財務副大臣が来庁しました

政策企画室 内2312 ☎463-3089



（右から）ふじた 藤田財務副大臣、とみおか 富岡市長、とねがわ 利根川副議長、あさかわ 浅川議長（役職は当時のものです）

昨年12月8日(木)、藤田財務副大臣が朝霞市役所を訪れ、公務員宿舍朝霞住宅の整備事業中止と国家公務員宿舍の削減計画の説明がありました。

席上、富岡市長は、「宿舍予定地について、将来的には市民の皆さんが利用できるよう、利用計画の修正について協議をお願いしたい。また、当面、利用の方向性が定まるまで、暫定的に市民が利用できるよう、国の特段のご配慮をいただければありがたい。朝霞の基地跡地の整備は、まだまだこれからの取り組みであり、広大な跡地の利用を推進するにあたっては、市の力だけではなかなか進まない面もある。国の理解と協

力を得ながら事業を推進したい。」と要望しました。

これに対して、副大臣からは「基地跡地の利用の推進を図る観点から、中止の決まった宿舍予定地の暫定的な活用を含め、市との協議を通じて、国として可能な範囲で協力していきたい。」との返事をいただきました。

朝霞市は 男女平等を進めています

一市民意識調査結果から見てきたこと⑩ー 「男性の育児休暇や介護休暇の取得」

男性が育児休暇を取得することについて、女性では「積極的に取得した方がよい」が47.4%、「どちらかといえば取得した方がよい」が29.3%、男性では「積極的に取得した方がよい」が36.8%、「どちらかといえば取得した方がよい」が35.9%となっており、男女共に7割以上が取得した方がよいと回答しています。

次に、男性が介護休暇を取得することについては、女性では「積極的に取得した方がよい」が53.0%、「どちらかといえば取得した方がよい」が29.7%、男性では、「積極的に取得した方がよい」が41.7%、「どちらかといえば取得した方がよい」が35.1%となっており、全体では8割以上が取得した方がよいと回答しています。

性別にかかわらず、能力を発揮することができ、また、働くことも地域社会への貢献もいろいろな形でできるような条件整備が求められています。その意味でも、育児・介護は女性が担当するという固定的性別役割分業意識を解消しなければいけません。

男性の育児休暇・介護休暇の取得について

* 便宜上、性別に関する無回答は表からは除いています。

項目名	育児休暇			介護休暇		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
積極的に取得した方がよい	42.9%	47.4%	36.8%	48.4%	53.0%	41.7%
どちらかといえば取得した方がよい	31.9%	29.3%	35.9%	31.8%	29.7%	35.1%
どちらかといえば取得しない方がよい	6.6%	5.3%	8.3%	3.8%	3.0%	4.9%
取得しない方がよい	2.7%	2.2%	3.4%	1.3%	1.0%	1.7%
わからない	8.8%	8.5%	9.2%	7.3%	6.1%	8.9%
無回答	7.1%	7.3%	6.3%	7.4%	7.3%	7.8%

ひとの推移

人口 13万1,395人（+ 3人） 世帯数 5万9,506世帯
男 6万7,131人（+ 4人） （－ 12世帯）
女 6万4,264人（－ 1人） 平成23年12月1日現在（ ）内は前月比

*「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」は平成22年6月に実施しました。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎／人権庶務課 内2255 ☎463-2697